



アンモナイトが北海道の石（化石）に選定



穂別博物館の大型アンモナイト

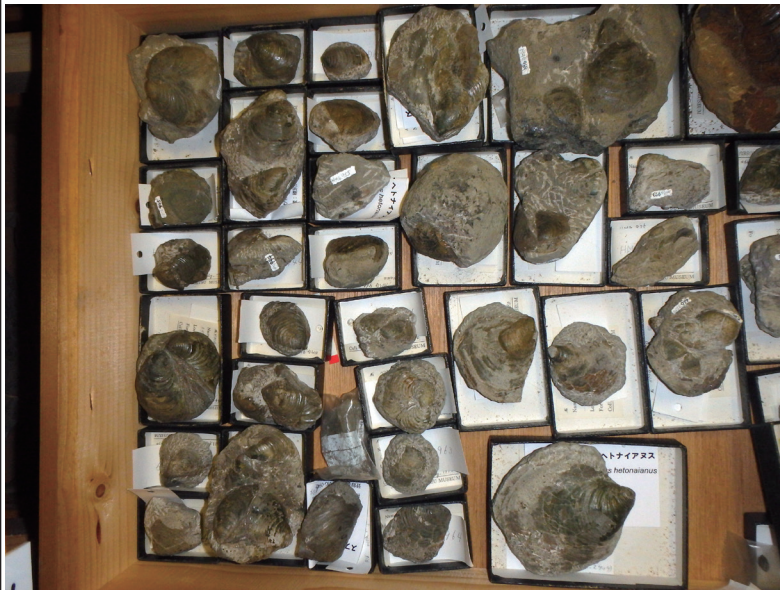
2016 年 5 月に日本地質学会が全国 47 都道府県の「^{ちしつ}県の石（岩石、^{こうぶつ}鉱物、化石）」を選定しました。そのなかで北海道の石（化石）としてアンモナイトが選ばれ、穂別博物館も展示施設の一つとして紹介されました。

アンモナイトは北海道で初めて研究・報告された化石の一つとして知られています（1890 年に^{きさい}記載・報告）。北海道からはこれまでに 500 種ほどのアンモナイトが発見されているだけでなく、^{ちそう}地層の時代決定を行う^{せいそうじょ}生層序（化石層序）研究や生物学的（進化古生物学的）な研究、^{りろん}理論形態学的研究、タフォノミー（化石になる^{かいてい}過程の研究）など多くの調査・研究が行われ、これらは日本の古生物学（化石などを研究する学問）をリードしてきました。

北海道は、こうした研究を支えるだけの膨大なアンモナイトが産出するアンモナイト大産地で、むかわ町穂別もそうした産地の一つです。穂別博物館には、日本最大級のアンモナイトや^{はくあき}白亜紀末のアンモナイト群、近年新種として記載された^{ふくすう}複数のアンモナイトなどが^{しゅうぞう}収蔵展示されていて、白亜紀後期のアンモナイトについて考える上で重要な博物館の一つになっています。

穂別博物館には、研究に適したアンモナイトが^{てき}複数寄贈されていますので、研究成果が発表された際には^{ずいじ}随時展示し、成果を公開していく予定です。

白亜紀末のイノセラムス スフェノセラムス・ヘトナイアヌス



1990年に採集された
スフェノセラムス・ヘトナイアヌス
(博物館収蔵庫)

6,600 万年前	マーストリヒチアン	上部	“イノセラムス” アワジエンシス
		下部	スフェノセラムス・ヘトナイアヌス イノセラムス・シコタネンシス
7,200 万年前	カンパニアン	上部	イノセラムス・バルチクスに近縁の種 ミチロイデス・シマヌキイ
		下部	

日本のイノセラムス化石帯 (文献3を改図)

文献1 松本達郎, 1952. 附. イノセラムス新種について. 田中啓策・松本達郎・前田保夫, 淡路島最南部の和泉層群. 地学雑誌, 第61号, p. 67-72.

文献2 Matsumoto, T., Toshimitsu, S., and Noda, M., 1993: On a Maastrichtian (Cretaceous) inoceramid species *Sphenoceras hetonaianus* (Matsumoto) from the Hobetsu district, Hokkaido. *Bulletin of the Hobetsu Museum*, No. 9, p. 1-20, 4pls.

文献3 利光誠一・松本達郎・野田雅之・西田民雄・米谷盛壽郎, 1995. 本邦上部白亜系の大規模化石-微化石層序および古地磁気層序の統合に向けて. 地質学雑誌, 第101巻, p. 19-29.

スフェノセラムス・ヘトナイアヌス *Sphenoceras hetonaianus* (イノセラムス科二枚貝) は穂別博物館設立以前の1952年に穂別平丘の標本を元に新種として報告された種(文献1)で、この時に採集された化石は、九州大学に収蔵されています。1990年の穂別キウスにおける道路拡張工事によって、多くの標本が産出し、穂別町立博物館(当時)で採集・整理を行いました。この時に採集された保存状態の良い化石資料に基づいて、1993年にこの種の再研究が行われました(文献2)。

スフェノセラムス・ヘトナイアヌスは、白亜系最上部マーストリヒチアン階中ごろの示準化石(地層の時代決定ができる化石)として知られています(文献3)。穂別博物館が管理している学習用地(キウス)での化石採集会では比較的多く産出する化石ですが、この種がほぼ確実に採集できるのは、世界でもこの場所しかありません。採集された場合は、大切に保管してください。

学芸員 西村智弘

むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30~17:00 (最終入館 16:30)

観覧料 個人/小~高校生: 100円

大人 300円

団体/小~高校生: 50円

大人 200円

※団体は10人以上 ※小学生未満は無料

2017年2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

2017年3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

休館日 〇 町民無料観覧日



苫小牧から約1時間半

札幌から千歳経由で約2時間

道東道むかわ穂別ICより約20分